

履修カルテ目次

◇個人データ記録（取得免許名、担当教員名）	1
◇履修カルテの目的と注意事項	2
◇履修カルテ（Ⅰ）教科及び教科の指導法に関する科目	
・教科に関する専門的事項	4
・各教科の指導法	5
◇履修カルテ（Ⅱ）領域及び保育内容の指導法に関する科目の履修状況	6
◇履修カルテ（Ⅲ）教育の基礎的理解に関する科目の履修状況	8
◇履修カルテ（Ⅳ）道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の履修状況	9
◇履修カルテ（Ⅴ）特別支援学校教諭一種免許状に関する科目	11
◇履修カルテ（Ⅵ）中学校教諭一種免許状〈保健体育〉、高等学校教諭一種免許状〈保健体育〉に関する科目	13
◇履修カルテ（Ⅶ）教育実践に関する科目の履修状況とその総括と反省	15
◇履修カルテ（Ⅷ）自己評価シート	17
◇成績通知書添付欄（4年次前期終了時）	20
◇教職にかかわる学外学習活動（教師塾・ボランティア活動を含む）	21
◇指導教員のコメント	22

◇個人データ記録（取得免許、担当教員名）

名前	
----	--

取得予定免許に ○をすること	小一種・幼一種・中一種免（保健体育）・高一種免（保健体育） ・特支一種免
-------------------	---

指導担当教員氏名（教育実習担当） ※3年次に記入		指導担当教員氏名（教職実践演習担当） ※4年次に記入	
1年次チューター氏名	2年次チューター氏名	3年次チューター氏名	4年次チューター氏名

◇履修カルテの目的と注意事項

<履修カルテの目的>

教員免許の取得を目指す学生は、4年次後期に「教職実践演習」を履修しなければなりません。その際に使用されるのが履修の記録、すなわち「履修カルテ」です。[※]そのため、「履修カルテ」を記入し準備をしておかないと、教員免許を取得することができません。幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校・高等学校〈保健体育〉の教員になるために開講されている授業科目の全てが「履修カルテ」の対象になるために、それらの授業科目を受講し単位を取得したら「履修カルテ」に記入していかなければなりません。

授業科目ごとに、主観的評価（自己評価）、客観的評価（授業担当教員からの評価）を記入していきますが、「教職実践演習」で必要なのは、結果としての評価の記載だけではなく、教員になるにおいて自分自身の力を見つめなおし、課題を設定し解決していくための記録です。まさに「頑張りの記録」、「意欲と努力の記録」です。

記録とともに自分自身を育て、教員に求められる力を意識して高め、具体的な自己目標を持って計画的に履修していきましょう。

※ 2008年の法改正により、2010年度以降の大学入学生を対象に義務付けられました。

<注意事項>

1、単位を修得した教員免許に関わる授業科目について、講義概要や評価を参考にし、あらためて授業科目の位置づけ、目標、内容、方法を振り返り、自己評価をする。その際に、学んだこと、学べなかったことを具体的に記入することにより、教師になっていくための自己課題を明確にして見通しをつくる。

2、「履修カルテ」の指導は、「教職実践演習」担当教員が中心となり行う。

3、「教職実践演習」開講までは、学生指導・履修指導を具体的に行うチューターが窓口となり、記入内容や方法における相談に応じ、記入の確認をする。

担当チューターは、記載状況を確認後、コメントをし、押印する。

4、2においてチューターは、「教職実践演習」担当教員に連絡・報告・相談をする。

5、実習は、教育現場における実践的・総合的な学びであり、教師になるために非常に重要な科目であるため、実習（「初等教育実習事前事後指導」、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」「特別支援教育実習事前事後指導」、「特別支援教育実習」、「教育実習事前事後指導（中・高）」、「教育実習（中・高）」）の担当者は、「履修カルテ」作成においても相談・援助を行う。

6、「履修カルテ」に、4年次前期終了段階の成績表の写しを添付する。

7、「履修カルテ」は、個人情報の記録であり、教員免許取得において非常に重要な記録であるため、学生・教員ともに管理に十分注意する。

◇履修カルテ（Ⅰ） 教科及び教科の指導法に関する科目

<小学校教諭 1 種免許状に関わる科目>

・教科に関する専門的事項

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	初等国語 (書写を含む)		2			
2	初等算数		2			
3	初等生活		2			
4	初等音楽		2			
5	図画工作		2			
6	初等体育		2			
7	初等社会		2			
8	初等理科		2			
9	初等家庭		2			
10	初等英語		2			

・各教科の指導法

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	初等国語科 教育法		2			
2	初等社会科 教育法		2			
3	初等算数科 教育法		2			
4	初等理科 教育法		2			
5	初等生活科教 育法		2			
6	初等音楽科 教育法		2			
7	図画工作科 教育法		2			
8	初等体育科 教育法		2			
9	図画家庭科 教育法		2			
10	初等英語科 教育法		2			

◇履修カルテ（Ⅱ）領域及び保育内容の指導法に関する科目

<幼稚園教諭１種免許状に関わる科目>

・領域に関する専門的事項

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	幼児と健康		2			
2	幼児と環境		2			
3	幼児と言葉		2			
4	幼児と 人間関係		2			
5	幼児と表現		2			

・ 保育内容の指導法

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	保育内容総論		2			
2	保育内容 (環境)		2			
3	保育内容 (健康 1)		2			
4	保育内容 (言葉)		2			
5	保育内容 (人間関係)		2			
6	保育内容 (表現 1)		2			
7	保育内容 (表現Ⅱ)		2			
8	保育内容 (表現Ⅲ)		2			

◇履修カルテ（Ⅲ）教育の基礎的理解に関する科目

＜小学校教諭一種免許状・幼稚園教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状・
高等学校教諭一種免許状取得に共通の科目＞

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	教育の原理		2			
2	教職入門		2			
3	教育行政学		2			
4	教育心理学		2			
5	特別支援教育		2			
6	教育課程論 (幼・小) ※幼一種免 のみ		2			
7	教育課程論 (小・中・高)		2			

◇履修カルテ(Ⅳ) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

幼稚園教諭１種免許のみ取得の場合は、教育方法論（幼・小）、幼児理解の理論と方法、教育相談の３科目について記入すること。

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	道徳教育 指導法 ※小一種免・ 中一種免のみ		2			
2	総合的な学習 の時間指導法		2			
3	特別活動 指導法		2			
4	教育方法論 (幼・小) ※幼一種免の み		2			
5	教育方法論 (小・中・高)		2			
6	幼児理解の理 論と方法 ※幼一種免の み		2			
7	生徒・進路指 導論		2			

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
8	教育相談		2			
9	ICT 活用の理論と実践		1			

◇履修カルテ（Ⅴ） 特別支援学校教諭一種免許状に関する科目

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
1	特別支援教育 総論		2			
2	知的障害児の 心理		2			
3	知的障害児の 生理・病理		1			
4	肢体不自由児 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病理		2			
5	病 弱 児 の 心 理 ・ 生理 ・ 病 理		2			
6	知的障害児教 育		2			
7	知的障害児教 育演習		1			
8	障害児の教育 課程と指導法		2			
9	肢体不自由児 教育		2			

No.	授業科目名	教員名	単位	修得 年度	成績	履修についての自己評価、反省
10	病弱児教育		2			
11	視覚障害児の 心理・生理・ 病理と指導		2			
12	聴覚障害児の 心理・生理・ 病理と指導		2			
13	重複・LD児の 心理・生理・病 理と指導		2			

◇履修カルテ(VI) 中学校教諭一種免許状（保健体育）・高等学校教諭一種

免許状（保健体育）に関する科目

1	教育方法学・ 実習（体つくり運動・集団行動）		1			
2	教育方法学・ 実習（陸上）		1			
3	教育方法学・ 実習（ダンス）		1			
4	教育方法学・ 実習（バスケットボール）		1			
5	教育方法学・ 実習（アダプテッド・スポーツ）		1			
6	スポーツ運動学		1			
7	スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）		1			
8	教育方法学・ 実習（バレーボール）		1			
9	教育方法学・ 実習（水泳）		1			

10	スポーツ社会学		1			
11	運動生理学		1			
12	教育方法学・実習（柔道）		1			
13	スポーツ史		1			
14	教育方法学・実習（ソフトボール）		1			
15	教育方法学・実習（器械運動）		1			
16	スポーツ心理学		1			
17	公衆衛生学		2			
18	学校保健（小児保健・精神保健・救急処置）		2			

◇履修カルテ（Ⅶ）教育実践に関する科目の履修状況

介護等体験（小学校・中学校教諭免許）、初等教育実習Ⅰ（幼稚園教諭免許）、初等教育実習Ⅱ（幼稚園教諭免許・小学校教諭免許）、特別支援教育実習、教育実習（中・高）後に、記入すること。

区分		期間・学年等	実施内容	自己評価、反省
介護等体験	社会福祉施設	学年：		
		期間：（ 週間） 年 月 日～ 年 月 日		
		施設名：		
	特別支援学校	学年：		
		期間：（ 週間） 年 月 日～ 年 月 日		
		学校名：		
初等教育実習Ⅰ	学年：			
	期間：（ 週間） 年 月 日～ 年 月 日			
	実習校（園）名：			
	実習校からの評価			
初等教育実習Ⅱ	学年：			
	期間：（ 週間） 年 月 日～ 年 月 日			
	実習校（園）名：			
	実習校からの評価			

特別支援教育実習	学年：			
	期間：(週間) 年 月 日～ 年 月 日			
	実習校名：			
	実習校か らの評価			
教育実習（中・高）	学年：			
	期間：(週間) 年 月 日～ 年 月 日			
	実習校（園）名：			
	実習校か らの評価			

◇履修カルテ（Ⅷ）自己評価シート

（１） 必要な資質能力についての自己評価

（５…よくできる　４…ある程度できる　３…どちらともいえない　２…あまりできない　１…できない）

必要な資質能力の指標		自己評価		
項目	指標	２年次 終了時	３年次 終了時	４年次前期 終了時
①学校教育についての理解	教職の意義や教員の役割、職務内容について理解している			
	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎知識を習得している			
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎知識を習得している			
②子どもについての理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的な基礎知識を習得している			
	集団や社会の中での発達について必要な基礎知識を習得している			
	いじめ、虐待、障害などについて、個々の子どもの特性や状況やそれに応じた対応を理解できる			
	特別な支援を必要とする子どもの個々の特性の把握や対応法について理解できる			
③他者との協力	他者の意見を理解し、自分も意見を言うことができる			
	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができる			
	集団において率先して自らの役割を見つけ、最後まで責任をもって行うことができる			
④教師としての社会性・コミュニケーション能力	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができる			
	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる			
	挨拶、言葉遣い、接し方など教師になる者としての基本的な態度・姿勢が身についている			
	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解して対応できる基本的な資質を備えている			
⑤教科等・教育課程における知識・技術	学習指導要領並びに教科書の内容を理解している			
	教育課程（カリキュラム）の編成に関する基礎的知識・技術を習得している			
	生徒指導や進路指導に関する基礎的知識・技術を習得している			

必要な資質能力の指標		自己評価		
項目	指標	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次前期 終了時
	特別活動の内容や指導法に関する基礎的知識・技術を習得している			
	道徳教育の内容や指導法に関する基礎的知識・技術を習得している			
	総合的な学習の時間の内容や指導法に関する基礎的知識・技術を習得している			
	教材や教具（情報教育機器を含む）についての基礎的知識・技術を習得している			
	異校種接続・連携に関する基礎的知識を習得している			
	情報教育に関する基礎的知識・技術を修得している			
	学習指導法（教育方法）についての基礎的知識・技術を習得している			
	特別支援教育に関する基礎的知識・技術を習得している。			
⑥教育実践	板書や発問、的確な話し方など、授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けている			
	教材を解釈・分析することができる			
	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができる			
	学級経営についての基礎的知識を習得している			
	教材研究、子ども理解、学級集団の発展を踏まえ、授業を構想し、指導案を作成することができる			
	授業を行い展開することができる			
	教職における自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っている			
⑦教職における課題探求	子どもや教育に関する課題に関心を持ち、情報を得、自分なりに意見を持つことができている			
	教材開発や授業研究などを行い、課題探求をしている			
	教師として人間的成長を図ろうとしている			

（２）教職を目指す上での自分の課題（４年次後期教職実践演習にて記入する）

①学校教育についての理解	
②子どもについての理解	
③他者との協力	
④教師としての社会性・コミュニケーション能力	
⑤教科等・教育課程における知識・技術	
⑥教育実践	
⑦教職における課題探求	

◇成績通知書添付欄（４年次前期までの状況）

※枠内に収まるよう、「B5」版に縮小コピーするなど工夫して、成績通知書の写しをのりづけしてください。４年次後期「教職実践演習」第１回の授業で確認をします。

成績通知書貼り付け欄

◇教職にかかわる学外学習活動（ボランティア活動を含む）

学年・期間	学校・施設名など	活動内容

◇指導教員のコメント

※以下の欄に、指導教員がカルテの記載状況を確認したうえで、押印します。

記入や押印、記入内容を確認してください。

1 年次後期、チューターによる記載事項確認欄

年 月 日 教員氏名 印

2 年次後期、チューターによる記載事項確認欄

年 月 日 教員氏名 印

3 年次後期、チューターによる記載事項確認欄

年 月 日 教員氏名 印

4 年次チューターによる記載事項確認欄

年 月 日 教員氏名 印

「教職実践演習」担当教員のコメント

年 月 日 教員氏名 印

